



第1893回 例会

2013-14年度RI会長:ロン D・バートン
第2640地区ガバナー: 久保 治雄
創立:昭和49年5月15日
会長:竹村 英一
幹事:後藤 信博
会報:谷本 司



VOL40 No. 5

2013年8月7日(水)

事務所:田辺市下屋敷町81-10
きのくに信用金庫田辺支店3F
Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
例会:毎週水曜日 12:30~

司会者 竹村 英一 会長

唱 歌

“君が代” “我等の生業”
野村 憲司 君



ゲスト

2012-2013年度 青少年交換長期留学生
西岡 あかね さん

出席報告			
会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
51名	4名	5名	89.36%
7月17日修正出席率 97.87%			



ニコニコ箱

◇泉さん、卓話頑張ってください。
奥平さん、ご入会おめでとうございます。
西岡あかねちゃん、お帰りなさい。
愛須・橋本・片井・木村・北村・小山・畔田・丸山・森本・野村・岡本・佐田・武田・谷峯・谷中・上原・宇都・早稲田・渡口・山本・吉田
◇泉さん頑張ってください。 楠本・沖
◇今回、初めて入会させていただくことになりました。今後とも、よろしくお願いします。 奥平
◇奥平朋久さん、入会有難うございます。末長くよろしくお願いします。 後藤・竹村
◇ようこそ奥平朋久さん、入会おめでとう。
増強委員長、泉
◇西岡あかねちゃん、お帰りなさい。 平野
◇復帰しました。よろしくお願いします。 稗田
◇稗田様、お久しぶりです。 坂本
◇本人誕生日 愛須
◇奥様誕生日 橋本・本田
◇お花頂きます。 石井

会長報告

■本日のプログラムは内卓として、会員増強委員長の泉 房次朗君による会員卓話です。後ほど宜しくお願ひ致します。

■本日はゲストに、青少年交換プログラムにて昨年8月から今年6月までスウェーデンに留学されていた、西岡あかねさんをお迎えしています。

■8月3日(土) 上富田町文化会館に於いて、上富田町青少年育成町民会議主催による福島県児童の招待事業「出合いふれあい体験教室」のお別れ会が開催されました。40周年記念事業委員会から谷中君、平野君、小山君、岡本君、後藤幹事が出席してくれました。ご苦労様でした。

■来週、8月14日(水)は例会休会です。

幹事報告

■例会日時変更

◎那智勝浦RC

8月15日(木)→ 8月11日(日)19:00~

場所: 那智海水浴場

<家族親睦花火大会見学会>

8月22日(木)→ 休会

■メイクアップ

◎7月29日(月) 上富田町・福島県児童の招待事業

後藤君、岡本君、谷中君

◎7月31日(水) 泉州KUMATORIロータリーEクラブ

野村君

◎8月3日(土) 上富田町・福島県児童の招待事業お別れ会

後藤君、平野君、小山君、岡本君、谷中君

■回覧

◎「JCニュース7月号」

◎(社)ロータリーの友事務所より

「ロータリーの友 手引書」

- ◎「英語版ロータリアン8月号」
- ◎国際ロータリー第2650地区ガバナー事務所より
「『ロータリー情報冊子』実費分譲終了のお知らせ」
- ◎ガバナー事務所より
「公式訪問の御礼」 「ガバナー月信8月号」
「『ロータリーの友8月号』地区だより」
「インターアクトクラブ国際交流親睦会のご案内」

■ 掲 示

- ◎全国RC野球大会コミッショナー 瀬川様より
暑中お見舞いを頂いております。

■ 連 絡

- ◎R財団より平成25年1月から6月までの寄付に対して、
確定申告用寄付金領収証が届いています。該当する
方は各自トレイに入れています。
- ◎来週8月14日(水)の例会は休会です。
次回は8月21日(水)です。
8月16日まで事務局も休業いたしますので、緊急の
場合は会長・幹事までよろしくお願い致します。

皆 出 席 者



中川 文恵 君



畔田 実 君

新 入 会 員

奥平 朋久 (おくひら ともひさ) 君
株式会社 奥平工務店 47歳



本 日 の プ ロ グ ラ ム

会員増強委員長

泉 房次朗 君



8月は会員増強および拡大月間です。仲間を増やす月間です。

只今から月間にちなんで私の内卓の時間としたいと思います。よろしくお願いします。

まず最初につきなみですが、会員増強の意義について話をしたいと思います。

会員の増強は、次のような観点から、RCにとって不可欠なことと考えられます。

- 1 毎年会員の自然減が5-10パーセントとみられます。クラブを維持するために新会員の補充は必須です。
- 2 効果的なクラブであるためには、老・壮・青のバランスを保ちつつ、若返りを心がける必要があります。
- 3 会員増強と拡大は、組織の継続的発展を願う、毎年RI会長の最重要課題となっています。今年度は田中作治 前RI会長が提唱されました3年間で会員増強10パーセント目標の2年目です。その目標を出来る限り継承し活動していきたいと思ひます。世界では7年間に100万人の新会員が入会し同じく100万人がRCから去って行ったそうです。一概に増強と言っても各クラブの現状・体質を認識し、大きいクラブは退会防止を、小さいクラブは会員増強を考えながら、我がクラブは純増3名を目標にして取り組みたいと思ひます。
- 4 会員増強は、奉仕活動推進にとって、大きなプラスとなります。
- 5 自分が受けた特典や感動は、出来るだけ、友人・知人と分かち合うのが好ましいと考えられます。
- 6 可能な限り、地域に存在する職業分類を網羅し、職業奉仕による社会的貢献を目指すことが、重要です。

具体的に増強は如何にするか？

まず、会員増強委員会の設置であります。次のような役割を持つ会員増強委員会が望まれます。東クラブの今期の目標は以下のとおりです。

- 1 クラブの充填・未充填職業分類を絶えず検討し、未充填の職業分類を充填する為に適当な人物の氏名を理事会に推薦するように積極的努める。
- 2 退会防止の努力に努める。
- 3 過去に上がった新入会員候補・元会員の資料を整理しアプローチする。
- 4 会員相互の連絡を豊富にし入会情報をキャッチし入会してもらうよう努力する。
- 5 新入会員純増3名を目指す。
- 6 新会員の加入に貢献した推薦者の表彰等を理事会に具申する。



こんにちは。スウェーデンに1年間留学させていただいた、西岡あかねと申します。今回は私がスウェーデンで出会った方々についてお話したいと思います。

1人目は、Yixuanという中国人の女の子です。彼女はスウェーデンでできた親友のうちの一人です。彼女は、4年前に母の再婚でスウェーデンに移住することになり、スウェーデンに来てからは言葉の壁や、人種の壁を乗り越えて、沢山の友達から愛されている人です。彼女は、私が自分の不甲斐なさのせいで落ち込んでいたり、差別されて怒ったり、分かり合えなくてさみしい時に、そばにいて話を聞いてくれました。私にとって彼女は親友であり、目標でもありました。最近では、ずっと日本と中国の国民の間の対立意識が強まっていると、煽るようにメディアは報じています。ですが、素晴らしい人々も沢山いる、ということを私は日本中に伝えたいのです。それは、彼女以外にもたくさんの中国人に会い、その人たちがみんな彼女のように素晴らしい人たちだったからです。

2人目はNadiaという女の子です。彼女は、イラクからの難民です。彼女はよくスウェーデン語の授業に来ていて、聖歌隊としてうたっている女の子です。彼女はあまりしゃべらない子でしたが、ぽつぽつと、昔話をしてくれたことがありました。彼女の言葉をそのまま伝えますが、

「私たち家族は、ヒッチハイクや、徒歩で、スウェーデンへ逃げました。3年かかりました。その3年の間に、お父さんもお母さんも死んでしまいました。やっとスウェーデンについても、私と兄と弟は離れた町に暮らさなければならなくなり、ばらばらになりました。」私はその話をきいて、ただ愕然としていました。「難民」という言葉は、日本で暮らしているときはとても日常からかけ離れていました。しかし今では、違います。Nadiaが語ってくれた過去は、「戦争・紛争」が紛れもなく今私たちの生きている世界に存在し、「難民」にならなければならない人々がいるという事実を再認識させてくれました。12月に彼女は、投票で選ばれ、町の代表として、年に一度のお祭りでの聖女役として歌を歌いました。彼女は間違いなく町の大切な一員で、彼女が過去を乗り越えて、そのお祭りで歌うという幼いころからの夢をかなえたことは、私に勇気をくれました。

最後は、Miaと Benkaという、わたしのホストペアレントです。彼らは、6人の子供を育て上げた凄腕の親です。彼らの前に、8月から10月までステイさせていただいた家族と最後までうまくいかず、自分を責めてネガティブになっていました。だから、Mia と Benkaの家族のもとへ引っ越すとき、またうまくいかないんじゃないだろうかと心配でした。ところが、彼らと一緒に暮らした3か月間は私にとってとても素晴らしい時間になりました。彼らは、楽器や料理や縫い物を教えてくれたり、散歩すれば木の名前を教えてくれたり、食べ物、動物、家具や体のパーツの名前をクイズ形式で教えてくれたりと、教えるのが大好きな人達でした。そうして過ごしていくうちにスウェーデン語で会話ができるようになり、次第に言葉に対する自信が付きました。そしていつの間にか本当の家族のように仲良くなりました。私が違うファミリーのもとへ引っ越す前日に彼らは言いました。「帰りたくなったらいつでも帰っておいで！ここはいつでもアカネのために開いているから！」私は、その言葉がとても嬉しかったです。そして、こんなに別れるのがつらくなる程ファミリーと仲良くなれたことは、そのあとの2つのファミリーと暮らすことへの不安をなくしてくれました。このことが私に、残りのスウェーデンでの生活を頑張れる力を与えてくれ、そしてスウェーデンでの生活を有意義なものにしてくれました。

こうして1年間があっという間に過ぎましたが、多くの人たちと出会い、多くの国の人たちの話を聞くことができたのは、これからの私の人生において大きな影響を与えてくれたと思います。日本だけしか知らなかった私が、異なる国の人たちと多くを語り合ったことは、私に人の話に耳を傾ける大切さを教えてくれました。また、自分には関係ないと思っていた外国での出来事を身近に感じさせてくれました。それを深く考えるきっかけが作れたことは、これからの私が成長する過程で必要となる大切な力を、身に付けるための礎になったのではないかと思います。

最後になりましたが、一生忘れられない素晴らしい1年を与えてくださったロータリークラブに心から感謝しています。本当にありがとうございました！



国際ロータリー 第2330地区 スウェーデン
LEKSAND ROTARY CLUB (レクサンドRC) のバナー



こんにちは。スウェーデンに1年間滞在させていただいた西岡あかねと申します。今日は私がこの1年間に経験したことと、面白いと思った文化を皆さんと共有できたらと思います。

まず、スウェーデンの4大祭について紹介します。1つ目、ルシアとは、キリスト教関係の祭りで、殉教した聖女ルシアを祝うものです。教会で聖女ルシア役の女の子は頭に蝋燭のついた冠をかぶり、天使役は手に蝋燭を持ち、白いドレスをきて歌います。2つ目のユールとは、クリスマスのことです。スウェーデンではサンタクロースではなく、トムテという名前のおじさんがクリスマスにやってきます。また、クリスマス当日は家族でディズニーのドナルドダックのアニメを見るという50年続く伝統があります。3つ目、ボスクとはいわゆるイースター祭です。卵に絵をかくたり、卵形の容器にお菓子をいれてプレゼントしたり、カラフルな羽がついた小枝を飾ったり、魔女の仮装をした女の子たちがお菓子をねだって町を歩きます。古くはこの日は断食をする日で、この日に備え3週間前から火曜日ごとにこのケーキを食べ脂肪をつけていました。今ではケーキを食べる習慣だけが残し、断食はありません。4つ目のミッドソンマルは日本語では夏至祭と呼ばれ、伝統衣装に身を包み、草花でかわいく飾られたボールの周りでみんなで踊る祭りです。夜には、口を閉じて7つの異なる種類の花をつみ、枕の下に入れて寝ると、夢に将来の結婚相手が出てくるというのがあります。

次に、スウェーデンの文化で、私が面白いと思ったものを紹介します。スウェーデンでは8月にザリガニ祭があります。塩ゆでして、甲羅に空いた穴から盛大に音を立てながらお汁をすすり食べる、というのがスウェーデン流らしいです。また、世界一くさい缶詰であるスールストロミンクにも挑戦しました。その匂いは強烈で、家の中で缶を開けたため近所の家々までその匂いが届いてしまった上に、1日たっても家にこびりついた匂いがとれず、大変でした。また、ほかに私が面白いと思ったのは、スウェーデンでは王様や大臣、社長、先生、目上の人など、くらいが上の人にもため口で話すのが普通だということです。日本との違いに驚きました。

次に、私のお気に入りの町を紹介します。私はこの一年間でスウェーデンの北から南まで様々なところを訪れました。春に、スウェーデン南東に位置する島ゴットランドの県都ビーエーヘ友達を訪ねました。ビーエーヘ

は魔女の宅急便に登場する町のモデルになったところでした。かわいらしい町並みや古い遺跡がとても素敵でした。また、私がこの1年間滞在した町レクサンドは、森と湖と花畑が広がり、おもちゃのような赤い木の家が立ち並んでいて、とても美しいです。冬には、北極圏に位置する鉱山都市キルナでロータリーのキャンプがありました。地平線まで広がる雪原と、高く険しい雪山との高低のコントラストがとても印象に残っています。私はそこで犬ぞりに挑戦したり、全てが氷でできているアイスホテルの中を見学したりしました。春にスウェーデンの首都ストックホルムにも訪れました。私は古い城下町ガムラストンを見て回りました。ストックホルムは沢山の島が橋でつながってできていて、北欧のベネチアという別名を持ち、高級住宅街が広がっています。

私がこの一年間で得たものの中で一番大切なものは、スウェーデンで築き上げた友達、家族との素晴らしい人間関係だと思います。スウェーデンでたくさんの親友と、1年という短い間で深い絆を築くことができ、本当に良かったです。私は5つの家族と共に暮らしましたが、彼らは今でも私にとって本当の家族のようにととても大切な存在です。彼らとは今でも連絡を取り合っています。また会える日がとても待ち遠しいです。一生忘れられない素晴らしい1年を与えてくださったロータリークラブに心から感謝しています。本当にありがとうございました！

